

授業科目名	読書と豊かな人間性(2100504)		
時間割名	読書と豊かな人間性(23118)		
時間割担当	伊崎一夫		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	火・3		

授業の目標・概要

読書が人生に深い関わりをもつことは自明なことである。また、読書は教育課程全般に関わる重要な要素である。人間形成における読書の意味を考え、児童・生徒に読書の楽しめとともに読書能力と習慣を身につけさせる方法を学ぶ。さらに自身も読書に親しみ、読書の幅を広げる。

学習の到達目標

- ・ 読書が教育課程全般に関わる重要な要素であることについて理解し、児童・生徒に読書習慣を身につけさせる方法を知る。
- ・ 児童・生徒の読書のための現在のさまざまな取り組みを知るとともに、児童文学に興味を持って幅広く読む。

授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、よりよい指導法などに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 読書の意義と目的 ・「読む」ことのもたらす意味
- 第2回 読書の意義と目的 ・「読む」ことのもたらす意味
- 第3回 「子ども読書週間」ワークショップ ・「中学生向けの絵本」を2冊以上用意してくる
- 第4回 「子どもの読書の意味と現状」
 ・「子どもの読書活動に関する取り組み」
 ・「読書調査（全国学校図書館協議会）」から見てくるもの
- 第5回 「発達段階と読書(1)」 ・「発達段階」「読書能力」「読書興味」
- 第6回 「発達段階と読書(2)」 ・校種別の読書の特色とその指導
- 第7回 「読書指導の諸方法」・読書指導の様々な方法と実践例の紹介
- 第8回 「読書活動の諸方法」・読書活動の様々な方法と実践例の紹介
- 第9回 「読書材の選択と提供」
 ・学校図書館資料の種類と特性
 ・資料の選択方針と規準
- 第10回 「読書指導と教科指導」 ・受動的読書から能動的読書への展開
- 第11回 「家庭・学校・地域等との連携」・ネットワーク ・視聴（ビデオ）
- 第12回 ブックトーク実習（1） ブックトークの計画
- 第13回 ブックトーク実習（2） ブックトークの実践
- 第14回 ブックトーク実習（3） ブックトークの評価
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。（30%）さらに、学習指導案、図書館利用計画の作成の緻密さなどを評価する。（30%）さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。（40%）

準備学習・復習及び授

1. 配布資料等を読み、疑問については熟読したり調べたりして解決する。
2. 学習指導案や、図書館活用計画などのモデルを関連図書などから取り出しておく。
3. 学校図書館に実際に足を運び、それぞれの工夫や特徴についてまとめる。

履修上のアドバイス及

受講を機会に児童図書に親しんでください。公共図書館の児童室を見学する、そこで行われるお話会などのイベントを参観させてもらう、子どもの本や学校図書館関係の研究会に参加するなどの取り組みが有効です。

教材・教科書

『これからの学校図書館の活用の在り方等について（報告）』平成21年3月 子どもの読書サポーターズ会議
 （文部科学省「子どもの読書サポーターズ会議」よりダウンロード可能）

参考書

『シリーズ学校図書館学第4巻 読書と豊かな人間性』 全国学校図書館協議会 「シリーズ学校図書館学」編集委員会編 2011.4